

説明文の要旨をつかむ

図解 | 段落の役割・具体例・理由・要旨

具体例と筆者の考えをつなげよう

1 問いを見つける

何について、何を考える文章か。

2 例と考えを分ける

具体例は、どの考えを支えているか。

3 全体をまとめる

筆者が最も伝えたい考えは何か。

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 説明を分かりやすくするには、具体例を増やせばよいのだろうか。
- ② 例えば、「本を大切に」と言うだけより、「ページを折らず、しおりを使おう」と伝えるほうが、すべき行動は想像しやすい。
- ③ しかし、行動の例を並べるだけでは、なぜそうするのが伝わらない。「本を長く使えるようにするため」という考えと結び付けることが必要だ。
- ④ 具体例は、伝えたい考えと結び付いてこそ役に立つ。例の数だけでなく、何を伝えるための例なのかを確かめることが大切である。

段落の役割を図にすると

① 問い

具体例を増やせばよいのか。

② 具体例

「しおりを使おう」と伝えると、行動を想像しやすい。

③ 問題点と必要なこと

例だけでは理由が不明。伝えたい考えと結ぶ。

④ 主張

例の数だけでなく、考えとの結び付きを確かめる。

具体例を読むときは、「何を伝えるための例か」を一言で説明してみよう。

主張の位置は決まっていない

この例文では主張が最後にありますが、文章の初めや途中に置かれる場合もあります。段落の位置だけで決めず、文章全体のつながりから判断しましょう。

要旨と理由説明の書き方

例題 | 1ページの文章を使って確かめよう

要旨とは

要旨は、文章全体で筆者が最も伝えたい中心的な考え。要約は、目的に応じて文章全体や一部を短くまとめることです。要旨では、話題と主張を結び付けましょう。

例題1 要旨をまとめる

本文全体の要旨を、四十字以上六十字以内で書きなさい。

①何の話か → ②何が大切か、の順に組み立てます。

解答例

説	明	を	分	か	り	や	す	く	す	る	に	は	、	具	体	例	の	数	だ	20
け	で	な	く	、	伝	え	た	い	考	え	と	の	結	び	付	き	を	確	か	40
め	る	こ	と	が	大	切	だ	。												60

〔49字〕 例の数ではなく、伝えたい考えとの結び付きをまとめています。

ここに注意

「しおりを使うことが大切だ」だけでは、本の扱い方という具体例の説明にとどまります。文章全体の主張まで広げましょう。

例題2 理由を説明する

行動の例を並べるだけでは十分でないのはなぜですか。

→ 「何がどうなるからか」というつながりを示します。

解答例 行動の例を並べるだけでは、なぜそうするのが伝わらないから。

読み直すときのチェック

- ☐ 具体例だけでなく、筆者の考えをまとめたか。
- ☐ 理由や指示内容を、本文に戻って確かめたか。
- ☐ 「必ず」「すべて」など、本文より強く言い切っていないか。
- ☐ 指定された字数・語句・文末の形を守ったか。

字数指定のある問題では、句読点・かぎカッコも一字と数えます。小さい「っ」「ゃ」なども一字です。